

2020年2月13日

キリングループ 2020年1月販売概況レポート

日頃から大変お世話になっております。キリングループの1月販売概況について、下記の通りご案内いたします。

記

1. キリンビール社

■ビール類計は、昨年の施策差の影響があり、95%の着地となった。

■新ジャンル計は、99%となった。

・本麒麟は引き続き好調に推移。発売3年目となるが、昨年を大きく上回り141%で着地した。3月には過去10年の新商品で最速の販売本数10億本^{※1}を迎える見込み。

※1：累計出荷本数(350ml缶換算)

カテゴリー	前年比
ビール類計	95%
ビール計	97%
発泡酒計	86%
新ジャンル計	99%
RTD計	108%

2. メルシャン社

■輸入ワインの販売がやや低調だった反面、日本ワインの「シャトー・メルシャン」の販売は大変好調だった。

カテゴリー	前年比
ワイン合計	94%
国内製造ワイン計	97%
輸入ワイン計	91%

3. キリンビバレッジ社

■暖冬によりホット飲料が伸び悩んだものの、「プラスの健康」カテゴリーのプラズマ乳酸菌飲料の好調が寄与し、100%着地となった。

カテゴリー	前年比
清涼飲料合計	100%

以上